

—八月六日広島にて、矢須子—

# 黒い雨

原作〓井伏鱒二「黒い雨」(新潮社刊)より

上演台本〓笹部博司

演出〓丹野郁弓

照明〓古宮俊昭

効果〓岩田直行

製作〓劇団民藝

企画〓りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

共催〓川崎市アートセンター

提携〓紀伊國屋書店

後援〓NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり



出演〓奈良岡朋子

2015年7月22日(水)14時開演

7月23日(木)19時開演

紀伊國屋サザンシアター(新宿南口)

2015年8月16日(日)14時開演

川崎市アートセンター(新百合ヶ丘)

6月1日(月)前売開始



Photo=Jun Ishikawa Design=Tatsuya Ariyama+Yui Yamamoto



劇団民藝公演

りゅーとぴあ発  
物語の女たちシリーズ

八月六日広島にて、矢須子

# 黒い雨

原作 井伏鱒二「黒い雨」(新潮社刊)より

出演 奈良岡朋子

上演台本 笹部博司

演出 丹野郁弓

井伏鱒二 いぶせ・ますじ

「黒い雨」はささやかな日常生活を送っている閑間重松・シゲ子夫妻と姪・矢須子の家族の物語です。矢須子を何とか嫁がせようとする夫婦ですが、次第に悲しい事実が明らかになります。未曾有の惨事に巻き込まれながらも、平常心を失わずに暮らしを営む人びと。淡々と進む物語の背景には、市井の人びとをおそった原爆の悲劇が厳然とあります。戦後70年のいま、「黒い雨」をもたらした戦争とは何なのか。奈良岡朋子が語る一人舞台を通して一緒に考える機会となれば幸いです。

みなさまへ

一昨年初めての挑戦となった一人舞台「黒い雨」。

たくさんの方の反響をいただき、

私の小さなライブワークとして

再び皆様にお届けいたします。

やさしさを与え、

愛することをあきらめないで生きつづける。

井伏鱒二さんが描く「黒い雨」の世界を

お客様と私だけの劇空間で

共有できるのを楽しみにしています。

奈良岡朋子



橋本 哲

奈良岡朋子 ならおか・ともこ

1898年、広島県生まれ。本名、満寿二。中学時代は画家を志したが、長兄のすすめで志望を文学に変える。1929年『山椒魚』等で文壇に登場。38年『ジョン万次郎漂流記』で直木賞を受賞。50年『本日休診』他により読売文学賞を受賞。65年より「新潮」誌に当初「姪の結婚」のタイトルで連載した『黒い雨』により野間文芸賞を受賞。66年文化勲章を受賞。93年、95歳で逝去。

1929年、東京生まれ。48年に民衆芸術劇場(第一次民藝)の研修生となり、50年劇団民藝の設立に参加。現在は代表。初舞台は『女子寮日記』(48)、『火山灰地』『ドライビング・ミス・デイズ』で毎日芸術賞と朝日舞台芸術賞など受賞多数。最近の舞台は畑澤聖悟作『カミサマの恋』遠藤道子、『満天の桜』松島、デイヴィッド・ベリー作『八月の鯨』リバー、ボートン・フット作『ハウンティフルへの旅』キャリア・ワッツなど。舞台を中心に映画、テレビにも数多く出演。12月には小幡欣治作『根岸庵律女』に出演予定。

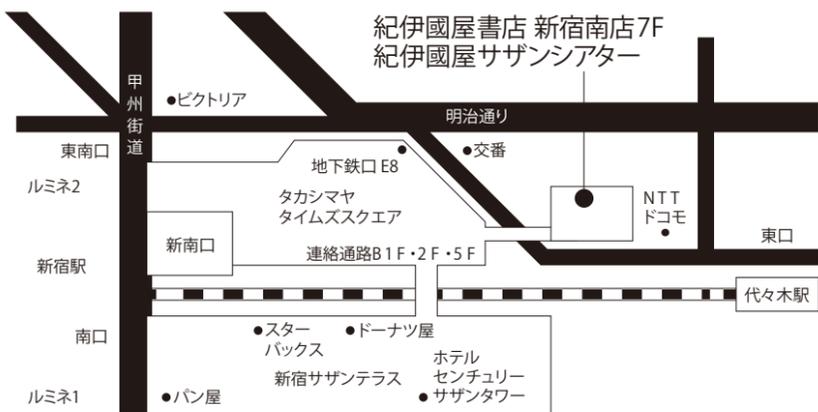
◆入場料金(全席指定・税込み)  
一般=4,500円 学生=2,000円  
前売開始=6月1日(月)

◆チケット取り扱い  
劇団民藝 044-987-7711(月~土 10:00~18:00)  
ローソンチケット  
0570-000-407(オペレーター対応 10:00~20:00)  
0570-084-003(Lコード 33430)  
キノチケットカウンター(新宿公演、窓口販売のみ)  
新宿東口・紀伊國屋書店本店 5階(10:00~18:30)  
川崎市アートセンター(新百合ヶ丘公演、窓口販売のみ)  
川崎市アートセンター(9:00~19:30 毎月第2月曜休館)

◆劇団民藝公演ご案内  
一人舞台 山本周五郎「夜の辛夷」  
出演=檜山文枝  
演出=兒玉庸策  
日時=7月23日(木)14時開演  
場所=紀伊國屋サザンシアター  
前売開始=6月1日(月)

◆新宿公演  
7月22日(水)14時開演  
7月23日(木)19時開演

紀伊國屋サザンシアター  
新宿駅南口徒歩8分、  
新南口徒歩5分  
☎151-0051  
渋谷区千駄ヶ谷5-24-2  
紀伊國屋書店新宿南店7階  
☎03-5361-3321  
開場は開演の30分前、  
受付は1時間前からです。



◆川崎・新百合ヶ丘公演  
8月16日(日)14時開演

川崎市アートセンター  
小田急線新百合ヶ丘駅  
北口徒歩3分  
☎215-0004  
川崎市麻生区万福寺6-7-1  
☎044-955-0107  
開場は開演の30分前、  
受付は1時間前からです。

